

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2017年9月号(第33号)



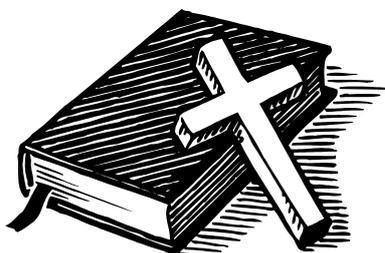
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

義のために迫害されている者は幸いです。

天の御国はその人たちのものだから。

【マタイの福音書 5章 10節】

2017年1月から「〇〇は幸いです」という聖書の言葉を取り上げてきました。その〇〇には「心の貧しい者」「悲しむ者」「柔和な者」「義に飢え渴く者」「あわれみ深い者」「心のきよい者」「平和をつくる者」が入りました。上記の言葉の中には私たちの感覚からすると本当に「幸い」なのかと思ってしまうものもありました。ここまで七つ取り上げてきましたが、今月が最後です。八つ目は「義のために迫害されている者は幸いです」とあります。もしかしたら、これが最も理解不能な「幸い」かもしれません。なぜ「義のために迫害されている者」が幸いなのか考えたいと思います。

まず「義のために」というのは、ここでは神のため、イエス・キリストのために、とい

うことです。それは、続く言葉に「わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。」とあるからです。この「わたし」というのは、イエス・キリストのことを指しています。ですから、意識しますと、「イエス・キリストのために迫害されている者は幸いです」となります。キリスト教の歴史の中で、旧約聖書の時代から今に至るまで、実は迫害がずっとありました。義のため、神のために生きようとする時、その人たちは迫害され、時には殉教者も出ました。聖書が教える通りに生きようとする時、世の中とは違った生き方をしようとする時、世の中とは違った生き方をしようとする時、そのような人たちは迫害の対象になりました。なによりもイエス・

キリストご自身も迫害をお受けになりましたし、その弟子たちも迫害を受けました。特に、当時はローマ皇帝を崇拝することが求められる時代でしたから、キリストの弟子たちはそれに応じなかったため、大変な迫害を経験しました。時々「キリスト教はヨーロッパの宗教」と言われたりしますが、キリスト教がヨーロッパで公認されたのは313年であり、それまでは迫害時代でした。しかし、その迫害があってもクリスチャンたちがキリストを宣べ伝えてきたことで、日本にまで及びました。では、現代において迫害は止んだかと言いますと、今なお信仰の自由がない国では迫害が続いています。日本にあっても、大々的には迫害はありませんが、真面目に神のために生きようとする時、少なからず反対や妨害にあいます。聖書の教えは、クリスチャンになったら必ず繁栄して裕福になりますよ、とは教えません。他の箇所にも「確かに、キリスト・イ

エスにあつて敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。」(Ⅱテモテ 3:12)とあります。では、なぜここに「幸い」があるのでしょうか。それは、このような時にこそ神の力が現され、イエス・キリストが共におられることを体験することができるからです。私たちは目に見えるものが全てだと思いますが、目に見えない神の力やイエス・キリストが共におられることを体験できることは本当に幸いなことです。あなたもこの世の中が与える幸いではなく、全能の神の力を味わうことができる幸いの中を生きたいとは思いませんか。

◆コラム

甲子園が終わると夏の終わりを感じます。今年は私の心の母校である松商学園(長野県代表。ちなみに、私は東京生まれ東京育ち)が出場し、久々に一勝できたことは喜びでした。いつか甲子園に試合を見に行きたいと思うのですが、踏み出せないのは休暇が取れないことだけでなく、父の言葉が頭に残っているからかもしれません。「甲子園は見に行く場所ではなく、野球をやりに行く場所だ」。元高校球児の父らしい言葉ですが、まったく余計なことを言ってくれたものだと思う元高校球児の私でした。

～集会案内～

- 日曜日：聖日礼拝 11:00～12:30 ○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
教会学校 10:00～10:40 (子どもから大人まで) 19:30～21:00
○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00 (子育てなどを行っている方のための集い。)

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。